

— 企画展 —

# 浮世絵師と狂歌仲間たち展 「五代目瀬川菊之丞」



第52回

浮世絵版画には、一般に販売された一枚絵のほかに非売品である「摺物」があります。依頼主からの特別注文により制作されたため、色遣いや摺りに工夫を凝らした豪華な作品が多く、売りものの浮世絵とは異なる趣をもっています。

俳人の依頼による俳諧摺物、追善摺物、略暦など様々な種類がありますが、特に文化期（1804-18）から天保期（1830-44）には狂歌の興隆にともなって狂歌摺物が盛んに作られました。

これらの摺物の多くには浮世絵師の名が記されています。一枚の摺物を複数の絵師が合作していたり、一つのシリーズに複数の絵師が参加している例も見られ、浮世絵師たちがその制作に密接に関わっていたことが知られています。

図は、浮世絵師歌川国貞が狂歌師のグループから依頼されて作成した摺物です。龍の模様の縁取りや、狂歌に「たつ」という文字を読み込んでいることから文政3年（1820）辰年の新春を祝うために作られたものと考えられます。

「千金の方の姿にたつ春の霞や瀬川帽子成らん」「音にきく高しの浜のあなな身ハけさ立春の姿なりけり」の二種の狂歌とともに描かれるのは当時の人気歌舞伎役者瀬川菊之丞です。瀬川菊之丞は江戸歌舞伎の女形を象徴する大名跡。豪華な着物を身にまとい、踊る姿があでやかに描かれています。丁寧な施された彫と、押さえられた色遣いが作品に上品さを添えています。

本展では、千葉市美術館所蔵の摺物より、文化

期から天保期に作成された作品を中心に紹介します。

摺物は制作数が少ないため普段なかなか目に触れることがない貴重なものですが、この機会に江戸の粋人たちの豊かな感性に触れ、雅趣あふれる摺物の魅力を楽しんでいただければ幸いです。



「五代目瀬川菊之丞」歌川国貞  
千葉市美術館蔵

馬頭広重美術館 学芸員 長井裕子

【会期】 1月15日(金)～2月21日(日)

【ミュージアムトーク(展示解説)】

1月16日(土) 午後1時30分～ 当館学芸員

【開館時間】 午前9時30分より午後5時まで

(但し入館は4時30分まで)

【休館日】 1月18日、25日、

2月1日、8日、12日、15日

【テレビ放映のお知らせ】

放映日 2月8日(月) 夜7:15～7:30

2月11日(木) 夜8:30～8:45

とちぎテレビ「栃木のきらめき」で、さくら市の荒井寛方記念館とともに馬頭広重美術館が紹介されます。

## ミニギャラリー 作品募集!

あなたの作品をここに展示してみませんか?

絵画、写真、絵手紙などの作品をお待ちしております。

申し込み・問合せ: 企画財政課

☎0287-92-1114



入選「還御の御輿」  
青木信夫(小川)

## ミニ ギャラリー

ばとう道の駅  
写真コンテスト  
受賞作品



優秀賞「山門に映る」  
河又哲男(茂木町)